

百年間ありがとう



学校は、「心のふるさと」と表現される人も多いと思います。大正・昭和・平成と、時代は移り変わっても、その思いは変わらないことでしょう。ここ、長野小学校塔ノ坂分校においても、そのような気持ちで、学校は大切にされてきました。

百年の歴史に幕 塔ノ坂分校閉校

四季折々の中、静かに目を閉じると、百年前の木々の揺れる音、鳥のさえずり、虫の声、川のせせらぎ……。そして学舎に集う子どもたちのぎやかな声などが、人の心を包み込む、豊かな音色として、聞こえてくるようです。



地域に愛された分校

大正元年に26人の学舎として塔ノ坂分教場は産声をあげました。創立して以来、地域に愛されながら百年もの歴史を刻み、これまでに400人余りの子どもたちが巣立っていきました。児童が一番多い昭和30年代には、50人近くの子どもたちが通い、勉強や運動に励んでいました。そして、教職員も分校に住み込み一生懸命に教えていました。

霊峰高岩山を仰ぎ、素晴らしい自然環境と地域の温かな人情に囲まれ、児童一人ひとりを大切にされた教育を地域と一緒にやって行ってきた塔ノ坂分校ですが、過疎化・少子化の時代の流れの中で児童数が減少し、3月31日をもって閉校となりました。長い歴史の中で育まれてきた思い出の数々は、いつまでも皆さんの心、そして地域に残り続けることでしょう。

塔ノ坂分校は、学舎としての幕を下ろしましたが、今後、校舎は「避難所を含めた自治会集会所」に、校庭は「公園・イベント広場」といった地域に根差した施設として活用されるように検討されます。



思い出の一枚

塔ノ坂分校への思い

「塔ノ坂分校は
僕の友だちでした」



本多 兼裕くん

▼学校生活で一番楽しかったことは？
夏休みに学校にテントを張って行ったキャンプが一番楽しかったです。

これまでキャンプは、2回ありました。お父さんと一緒にしました。肝試しやテントの中で寝たこと、自分たちでご飯を作ったことがとても楽しかったです。

▼分校の自慢は？
塔ノ坂分校は、人数は少ないけど、学年男女関係なくみんな仲良しです。
みんな、とっても優しく、けんかしてもすぐに仲直りができます。遊ぶ時もいつも一緒に、ルールを工夫して遊びました。

長野小学校塔ノ坂分校の沿革概要

- 大正元年 ● 長野小学校塔ノ坂分教場開場 (校地30坪、校舎14坪、1教室)
- 昭和16年 ● 西有家町長野国民学校塔ノ坂分校と校名変更
- 昭和22年 ● 西有家町立長野小学校塔ノ坂分校と校名変更
- 昭和23年 ● 西有家町立長野小学校育友会発足
- 昭和40年 ● 校歌・校旗作成
- 平成18年 ● 南島原市立長野小学校塔ノ坂分校と改称
- 平成24年 ● 創立百周年記念式典
- 平成25年 ● 閉校